

この企画展は終了しました。

えひめ災害の考古学 災害の過去と未来を結ぶ

平成26年度共同企画展（公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター・愛媛県生涯学習センター・愛媛県教育委員会）「えひめ災害の考古学 災害の過去と未来を結ぶ」を開催いたします。

【期 間】平成26年6月21日（土）から7月27日（日）まで

【開館時間】9：00から17：30まで（入館は17時まで）

【会 場】愛媛人物博物館3F企画展示室（愛媛県生涯学習センター内）

【観 覧 料】無料

[※チラシ拡大版はこちら](#)



①企画展主旨

「天災は忘れた頃にやって来る」とは、寺田寅彦の言葉として有名であるが、3・11の東北大震災以降、未来志向の災害復興が謳われている。愛媛県においてもそう遠くない将来に発生するであろうといわれている南海トラフ地震への防災意識はかつてないほどの高まりを見せている。そうした世情の中、遺跡の発掘調査においても地震を始めとする災害痕跡が注目されている。遺跡はなぜ埋もれたのか、あるいはその後どう再生されていったのか、そして先人たちはいかに自然災害と向き合ったのか、現代に生きる私たちは過去の震災をどのように記憶に留め、未来へつなげていけばよいのか。考古学は災害リスクマネジメントに資することが可能なのか。そうした喫緊の課題を考える契機とすることが今回の展示の目的である。

②展示内容

展示は、発掘調査で明らかとなった地震(液状化による噴砂・填礫・断層・地すべり・津波)、火山の噴火(降灰による環境被害)、台風や大雨(高潮・鉄砲水・土石流)といった災害痕跡の数々を写真パネルを主体に紹介し、災害と人々の生活の歴史を描写する。

展示予定遺跡名は、丸山Ⅱ遺跡(四国中央市)・久枝遺跡(西条市)・幸の木遺跡(西条市)・朝倉下経田遺跡(今治市)・新谷森ノ前遺跡(今治市)・土居窪遺跡2次(松山市)・上三谷／鶴吉遺跡(松前町／伊予市)・東峰遺跡(伊予市)など。

③共同企画展連動講座（受講料無料・当日受付可）

企画展に伴って民俗学・考古学・歴史地理学の視点から関係した論題について発表していただく。

≪第1回講座≫ 6月28日(土)13：30～15：30 生涯学習センター大研修室

柚山俊夫(伊予高校・伊予史談会)

「南予地方で記録された安政大地震」

≪第2回講座≫ 7月13日(日) 13：30～15：30 生涯学習センター大研修室

藤本清志(公財 愛媛県埋蔵文化財センター 調査員)

「発掘調査から分かる災害痕跡」

展示室でのギャラリートーク

◀第3回講座▶ 7月27日(日) 13:30~15:30 生涯学習センター大研修室

大本敬久(愛媛県歴史文化博物館 専門学芸員)

「愛媛の地震・津波の歴史と伝承」